

森のおくりもの8月



アカウシアブ（アブ科）



今年はメマトイの仲間が近年になく多い感じをうけます。アブの仲間も目立ってきました。たくさんのアブにまじって、低くて太い羽音が時おり聞こえることがあり、スズメバチが来たのかと思わされます。気をつけながら見るとアカウシアブのことがあります。独特な形の触角、大きくてきれいな複眼、スズメバチを真似たと思われる体の色などと、なかなかかっこいいことに気づかされます。他のアブに比べて太白の森では数少ないこともあって、みつけるとうれしくなります。まだまだ暑い日が続きそうですが、この季節ならではの出会いもたくさんあります。

【写真・文 早坂 徹】

成虫は小さなセミのよう ハゴロモの仲間



7月の中頃、ぼわぼわとタンポポの綿毛みたいなものをおしりにつけた虫が植物の茎に数匹並んでついていました。ハゴロモの幼虫です。観察の森でよく見られる2種類のハゴロモを紹介します。幼虫は似ていますが、成虫は全く違った翅をしているのですぐに見分けがつかますよ。



幼虫

幼虫も成虫も、植物の汁を吸って生きています。

このぼわぼわとした綿毛のようなものは、白い口うでできた糸状のもの。これを傘のように開いて、その下に体を隠しています。手を虫の前にかざすと、ちょこちょこと歩いて移動しますが、ひどく驚くとピョンと跳ねて、綿毛のような傘を開いてパラシュートのようにしてゆっくり落ちていきます。

産卵



●スケバハゴロモ

【成虫体長：約 6mm
翅の端まで：約 9-10mm】

■翅が透けて、
ササの葉が写っ
ている

成虫



●ベッコウハゴロモ

【成虫体長：約 6-8mm
翅の端まで：約 9-11mm】

■眼にも
白いストライプ
模様！

■翅はベッコウ色とい
うより、緑が
かった黄色に白
い線が2本。目
玉模様が1対
ついている。

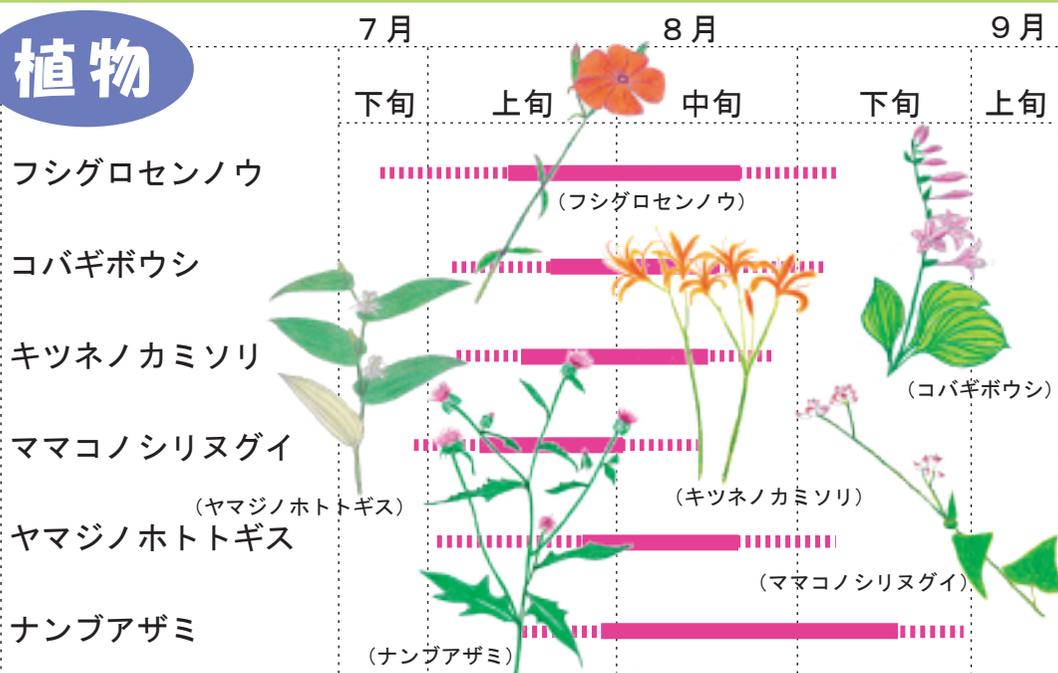
■9月に産卵して、卵で越冬し
ます。この写真のときは、いこいの
道の土止めしている杭の板に10数
個産卵していました。

毎年いつの間にか成虫になっているハゴロモ。一度、セミの羽化ならぬ、ハゴロモの羽化を見てみたいと思っているのですが、なかなか見られずにいます。

【レンジャー：黒川周子】

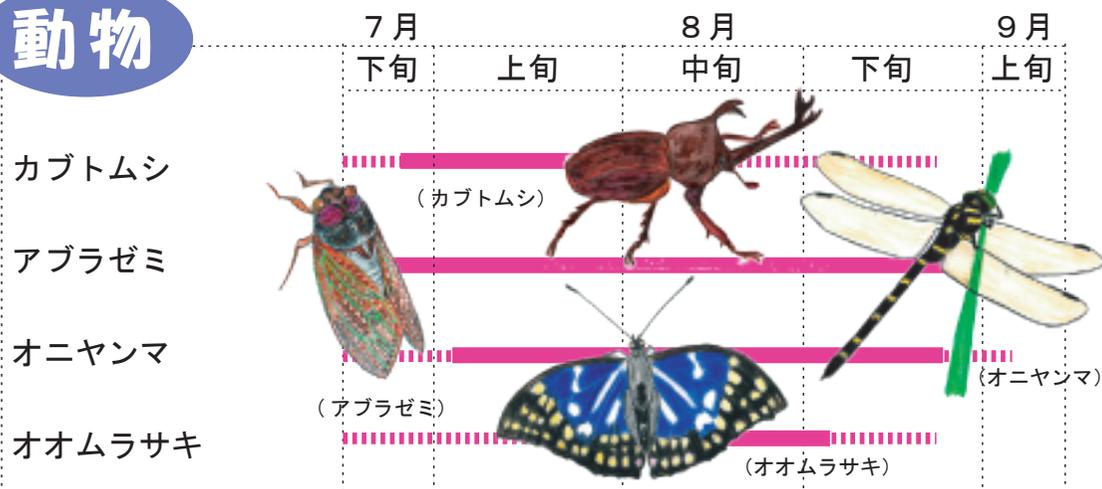
8月の生物ごよみ

植物



東北南部の梅雨明けは7月14日と平年より9日ほど早く梅雨が明けました。今年は特に猛暑が続き、全国的に熱中症の心配もされています。そんな中、観察の森ではセミたちが大合唱を始めています。ニイニイゼミ、ヒグラシは6月後半から鳴きはじめ、アブラゼミが7月10日、エゾゼミが12日、ツクツクボウシが18日、ミンミンゼミが22日と日を増すごとにぎやかになっています。

動物



【レンジャー：齋 正宏】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『一樹の陰一河の流れも他生の縁』

今年の夏はとても暑くて全国的にも猛暑が話題になっています。屋外の直射日光の下は体に堪える暑さです。森では木陰が強い陽射しを遮ってくれるので、比較的涼しく自然を楽しむことができます。

「一樹の陰一河の流れも他生の縁」という言葉があります。「知らない者同士が偶然木の陰で雨宿りをしたり同じ川の水を飲んだりするのも全て前世からの縁である」ことが由来の「この世で起こる出来事は全て運命である」という意味です。

森の木陰でたまたま居合わせた鳥や昆虫などの生き物や心に響く光景が、出会うべくして出会えたものだと考えたら、なんて素敵なことだろうと思いました。どんな小さな自然との出会いにも深いつながりがあり、全てめぐり合わせなのかもしれませんね。

【レンジャー：新田隆一】



森のおとしもの



その④ 「シロかキイロか」

右の写真ですが、上が“おとしもの”を捨てた場所、下がその“おとしもの”です。落とし主わかりますか？ 硬いハネはカブトムシやクワガタムシなど甲虫の仲間のもので、ところで、なぜここに落ちていたのでしょうか？きっと、おいしい胴体部分だけ鳥に食べられ、そして栄養分の少ない硬いハネだけ残された、と思います、周りはカミキリの木くずだらけ。ここで羽化した個体かもしれません。実は、センターの玄関前でも同じようなおとしものが拾えます、一目で分かるカブトムシの角やハネ、ノコギリクワガタの大あごと頭部、紫色に輝くセンチコガネのハネ、甲虫以外にも4枚きれいにそろったアブラゼミのハネ（きのう初鳴きを聞いたのに（/_:)), カマドウマらしき後ろ足、正体不明なガの仲間のはねの破片、などなど…、どうやら何者か（たぶんハシブトガラスやヒヨドリ、スズメたち）に食べられたその“のこりもの”。焼いたサンマをきれいに食べ、あとの残った頭や骨や尾びれを、私は連想してしまいます。



さて、左の写真がおとしものの主。体長（頭からおしりまでの長さ）が約4cm～5cmを超える日本一クラス的大型カミキリ。黒いボディにバックやサイドのイエローラインが平成仮面ライダーみたいでカッコイイ！死んで色が白くなってしまった標本で名付けられたみたいで、「シロスジカミキリ」と呼ばれています、“キスジカミキリ”の方がしっくりきたけどな～。残念。

【レンジャー：木田秀幸】



8月のイベント&お知らせ

◆『虫のいどころ』

8月18日(土) 10:00 ~ 11:30

・昆虫の専門家と共に、真夏の自然観察の森で虫のいどころを探ります。

【定員】20名(どなたでも) 【料金】無料

【持ち物】長袖長ズボン・雨具(カッパ)・観察用具・帽子・虫よけ・飲み物など

【申込み】8月7日(火)午前9時から電話で受付〔先着順〕

◆『夏休み企画第二弾! わくわく夜の森探検!!』

・夜の自然観察の森を探検します。 8月18日(土)19:00 ~ 20:30

【定員】20名(小学生以上) 【料金】無料

【持ち物】懐中電灯、雨具(カッパ)、飲み物など

【申込み】8月8日(水)9:00から電話で〔先着順〕

◆『キッズ昆虫たんけん隊』

8月25日(土) 10:00 ~ 12:00

・虫とりをしながら夏の森を探検します。

【定員】15名(小学生) 【持ち物】雨具(カッパ)・飲み物など

【料金】無料 【申込み】8月9日(木)午前9時から電話で受付〔先着順〕

◆『虫とあそぼう in 七北田』

8月25日(土) 13:00 ~ 16:00

・とった虫をかやに放してあそびます。【会場】泉区七北田公園(泉区民祭り会場)

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

8月の開催日は5日、12日、
19日、26日です。

開催時間:10:00~11:30
13:30~15:00

◎26日の午前は、自然観察センター館長がご案内します
申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



準備してある材料を使って、誰でも自由にクラフトが作れます。
8・9月は
スライス・ウッド・クラブです。



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のため、しばらくの間通行止めになります。

8月の休館日

6日、13日、20日、
27日

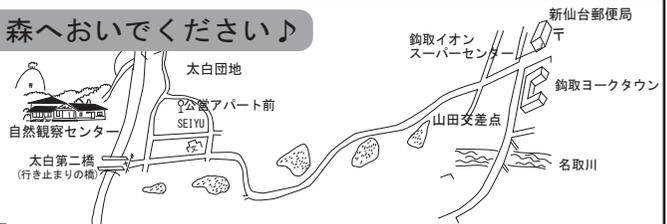
宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由山台南ニュータウン行」)
いずれも「公営アパート前」下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

2018年8月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「杜のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>